

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年4月1日

事業所名 えんりっち

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	指導訓練室は1つだが、最大3組の個別対応が可能なスペースを確保しています。	同室で療育を行うため動線が交錯する場合があります。構造化も含めてお子様の状態によって工夫をしていきます。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	粗大運動で遊ぶ空間、机上活動をする空間と構造化をしています。また準備等には手順書を作成し、見てわかるように配慮しています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	業務については職員とのミーティングを実施しています。職員から管理職へ業務の課題などが挙がる用になっています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	0%	100%		今年度から評価を始めるため、今後も継続して業務改善に努めていきたいと考えています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0%	100%		今年度から評価を始めるため、今後も継続して改善内容を公開し、周知していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	月に一回以上テーマを決めて職員研修を行っています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	計画書の作成のために、全員にアセスメントを実施し、それをもとに計画を立てています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	感覚面ではJSI-R、発達についてはS-Mを使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	0%	100%		弊所は個別療育なので、基本的にプログラムは個人で立案します。その中で適宜、職員間で相談しながら立案をすることもあります。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	研修を通して、遊びに含まれる発達の要素について分析したり、職員間でお互いの遊びのアイデアなどを参考にするなど、プログラムが固定化しないようにしています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	0%	100%		個別療育ですので、平日か休日かは関係なくプログラムを提供しています。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	0%	100%		個別療育ですので、適宜組み合わせることは難しいのが現状です。同室で利用されているお子様同士の了解が取れば、一緒に活動することがあります。	

15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	0%	100%		お互いに干渉し合わないよう(またはかかわりを持てるよう)、部屋割りや活動内容を打合せしてから支援をしています。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	0%	100%		適宜職員間、管理職との間で意見をかわしながら次回の支援方法の立案につなげています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	個人のファイルを作成し、その日の療育の記録をとっています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	半年に一回以上モニタリングを行っています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	個別支援計画に則り支援をおこなっています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	0%	100%		送迎は行っていませんので、密な連絡調整はしていません。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	0%		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0%	100%		現状では交流する機会は作れておらず、今後の課題です。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0%	100%		現状では学校を卒業されるお子様の利用がありません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	Willさんの機関支援を1年間利用し、職員の研修としていました。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		現状では交流する機会は作れておらず、今後の課題です。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	100%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	毎回の療育の後に保護者様とのお話の時間を設けています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0%	100%		ペアレントトレーニング等のプログラムは導入していません。しかし、適宜育児等への相談・助言を行っております。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時にご説明しております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	毎回の療育の中での相談に応じたり、また保護者会を開催し、相談の場を設けています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	保護者会や座談会を開催して保護者様同士の連携を支援しています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	保護者からの申し出があった場合には職員が個別に相談を受けられるように体制整備しています。また苦情解決体制についても整備し、契約時に周知しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0%	100%		集団療育については月ごとのプログラムを配布・周知していますが、全体としては特に発信はできておらず、どのような形で妥当か検討していきます。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報の取り扱いについては研修を行うとともに、所外へは原則持ち出さないなど管理をしています。	

36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	活動選択には絵カードを使用するなど、話せなくても意思表示ができるよう支援しています。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	夏休みには、療育で行った夏祭りの企画を一般開放し、地域のご家庭にもご参加いただきました。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	マニュアルを作成し、嘔吐物の処理方法や応急処置など研修を実施しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	マニュアルを作成し、6月頃に地震、10月頃に火事を想定した訓練を実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	年に1回以上、研修を行い、防止に努めています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	身体拘束を行う場合には、支援会議などで検討しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0%	100%		アレルギーの有無についてはアンケートをおこなひ、把握に努めています。現状で医師の指示書に基づく対応が必要なお子様が利用されていませんので、対応はしていません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	終業時のミーティングでヒヤリハットやアクシデントについては共有し、事例集を作成しています。	